

# もっと元気な但馬をめざして！みちへの期待

時代の変化は激しく刻一刻と変わっていきます。道路を取り巻く環境も大きく変わってきています。今こそ、女性の感性が道づくりにも求められている時代だと考えます。

女性座談会によつて、女性が道路に関して発言する機会を増やし、道への関心を高めてもらうとともに女性の感性を生かした女性ならではの意見や提案などをいただき、今後の道路事業に活かしていきたいと考えています。

ここに、座談会の中で出ましたご意見などをご紹介いたします。



今回、ご協力いただきましたのは浅田千代子さん(出石町)・大岡夫美子さん(豊岡市)・岸本まさ子さん(豊岡市)・黒川あや子さん(朝来町)・竹村あゆみさん(豊岡市)・中村美幸さん(浜坂町)・水間徳子さん(美方町)・百合岡洋子さん(日高町) ありがとうございます。

蘇武トンネルができて大変喜んでます。時間も短縮され、便利になり、しみじみ道のありがたさを感じています。



蘇武トンネル

「からこい」道の駅もできまして、気持ち的にも何か楽しいような思いも致します。

道は私たちの財産である一方、道がなければ生活ができません。水と同じように命だと思えます。但馬がもっともつと明るく元気になる道をつくっていただきたいと思えます。



道の駅 神鍋高原

工事や渋滞の情報、積雪情報がリアルタイムに、車に乗っていても、例えばラジオや携帯電話などで情報を得られるようにしてほしいです。



ボランティア

雪が積もると幹線道路は朝早くから除雪していただき、ありがたい気持ちでいっぱいです。昔でしたら、自分の家の前はいつまでもなく通学路も雪をあけていました。道について自分たちでできる事を見つけ参加したいものです。

今は心の時代になっていますから、安心して歩ける道、ストリートばかりでなくゆとりの道が大事だと思います。

道路整備によって産業も活性化し、働く場所も増えて、若者が但馬に定着できます。結婚・出産・育児・就職の可能な体制が整うことで子どもも増え、活性化につながる。その面からも道路に期待します。



昨年の歩道点検の様子

**8月が「道路ふれあい月間」**  
普段の生活の中で欠かせない道路を利用しているみなさんに、改めて道路とふれあい、道路の役割と重要性を再認識してもらい、さらに道路の正しい利用を見つめ直す事で、道路愛護の気持ちを持ってもらうことにより、道路を常に広く、美しく、安全に利用することをみんなで考えようという月間です。

**7月が「河川愛護月間」**  
水辺にやすらぎ 心にゆとり 安全できれいな川をみなさんと一緒に考えることを目的とした月間です。

楽しいイベントがいっぱい！  
みんな、来てね！ 待ってるよ！



11月27日(土) 7月7日は川の日 2004 7/17(土) 円山川フェスタ 姫路/豊岡/日高/朝来/川

今

井

怒り

vol.5

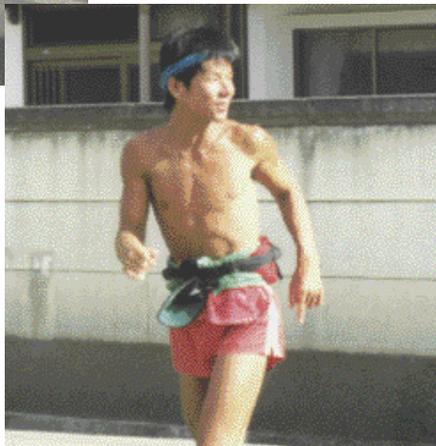
熱血  
談義

雅

之



1985年8月、サバイバルマラソンの時の写真。初々しい今井さんのプライベートショット。この頃、今井さんはマラソンやサバイバルなど肉体を酷使することに明け暮れていた。



振り返ってみると、高校を卒業して

から20数年、何にもしないボーっとし

た休みはとったことがない。撮影など

が入っていない日が2〜3日あれば、

脚本を書いたりしているし、ロケで地

方に行つて時間ができて、そこで地

出会いを大切にするために、人と会つ

たりしている。どうしようもなかった

のは、入院した3日間くらいか。

睡眠時間は仕事が入れば3〜5時

間、普段でも6時間くらい。ずーっと

突っ走ってきたという実感はある。そ

れも、人の2〜3倍の速度で。

そのパワーの源は何ですか？とよく

聞かれる。ボクの原動力は「怒り」。良

い意味での「怒り」。舞台や映画、テレ

ビに出ても、自分ではまったく納得し

ていない。もっと、もっと…何かを追

い求めている自分がいる。

単に仕事して、飲みに行つてだけじ

や、ぜんぜん楽しくない、つまらな

い。もっと楽しい舞台がしたい。もっ

と楽しい映画にでたい。それなら、自

分でつくっちゃえ！ってことになる。

そして、それが即行動となつて現れ

て、現在に至る。

今は次の映画「THE WINDS OF

GOD〜KAMIKAZE〜」のクラン

クインを8月にひかえ、オーディション

やロケハンなど、日本とロスを行き来

する毎日。アメリカになぐり込みだ！

と実に充実した日々を送っている。

一番ホットするのは、撮影や舞台が

終わった後の打ち上げで、「カンパイ

」とグラスを合わせたときか、風呂に入

っているときか…な？

【PROFILE】

1961年4月21日、兵庫県城崎郡日高町に生まれる。  
1986年 奈良橋陽子演出「MONKEY」で舞台デビュー  
1987年 ドラマ人間模様「婚約」(NHK)でテレビデビュー  
1991年 文化庁主催芸術祭において「WINDS OF GOD」で史上初の原作・脚本・演技の三役で受賞  
1993年 「WINDS OF GOD」で国際連合作家協会芸術賞受賞  
1995年 「静かな生活」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞、キネマ旬報日本映画新人男優賞受賞  
1999年 「WINDS OF GOD」ブロードウェイでロングラン公演  
2001年 「カッコーの巣の上を」全国ツアー公演  
2002年 「MAKOTO -ゆく年くる年 Hello,Xmas-」全国ツアー公演  
2003年 「SUPPINぶるうすざ・ムービー」初監督作品、但馬での撮影完了  
2004年 「SUPPINぶるうすざ・ムービー」初監督作品、ロードショー

